

酪農

とちぎ



文月

梅雨も明け、本格的な暑さに体が馴染まず、人も牛も体調を崩し気味です。また、今年は残暑も厳しいと予想されており、暑熱対策を万全にして頂きたいと存じます。

牧草の収穫は、若干の雨あたりがあった地域を除き、収穫量・品質ともに良好でした。今後、発育順調なデントコーンが台風の影響もなく収穫され、飼料費が軽減されることに期待しております。

乳価交渉が最終局面を迎え、七月三十一日には穀物と原油価格の高騰に相当する価格転嫁が実現されるよう、全国から有志二千二百名が集い「全国酪農民緊急集会」が開かれ、本組合からは約百二十名が参加し、要求の実現に向け取組を行いました。今後、消費拡大運動を通じて価格転嫁の必要性を訴えて参りますので、ご理解・ご協力をお願い致します。



組合長就任のご挨拶

代表理事組合長 菊池 一郎



この度、酪農とちぎ農業協同組合第七回通常総代会において役員に選任され、同日開催の理事会で代表理事組合長に就任することになりました。

前田忠利前組合長の後任として、昨今の酪農を取り巻く情勢を前に組合員の皆様の負託に応えるべくその重責を担う者として身が引き締まる思いです。

さて、酪農とちぎ農協は平成十三年八月一日に栃木県内の六つの酪農協が大同団結し誕生してから

今日に至るまで、役職員ともども組合員のために何が出来たのか、合併メリットを追求し合理化に努め、地域の皆様方のご理解を得ながら中期計画を前倒しし、集送乳の合理化、支所事業所の統廃合など名実ともに日本一の酪農協を目指して組合運営に取り組んでまいりました。

その間、首都圏の生乳供給基地としての使命感を持って、安全で高品質な生乳生産基盤強化に努めてまいりました。合併当初から高齢による廃業等により出荷戸数は減少しておりますが、皆様方のご努力により生乳取扱量は年間二十万トンを超え躍進の一途をたどってきました。そんな中、生乳の需給構造の変化により十八年、十九年と二カ年にわたる減産型計画生産を余儀なくされ、今酪農は産業

としての存続が危ぶまれるほどの大きな壁に直面しています。酪農、乳業の産業構造そのものの変革が求められているといっても過言ではありません。

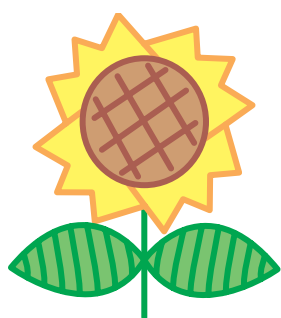
世界情勢をみると、米国のバイオエタノール政策、サブプライムローン問題、中国など新興国の急激な経済成長を背景に、原油や穀物の相場が天井知らずの高騰を続け、飢餓人口が一億人を突破した等、地球温暖化の環境問題と並んで世界的な食糧問題が取りざたされるに至っております。

国産牛乳・乳製品の安定供給の観点からも、酪農経営が輸入飼料の高騰等によって経営の採算が取れない状況が長引けば、生産基盤の弱体化にとどまらず、酪農そのものの崩壊により国民生活にとって深刻な事態を招きかねません。関東生乳販連では、十月の生乳取引価格改定に向け、統騰する飼料動向等をふまえた乳価再値上げの交渉を始めた所です。まさに生産現場の努力ではカバーしきれないスピードで状況は悪化して

おり、コストに見合った価格改定に向けて一刻の猶予もなく、その実現に向けて全力をあげてまいります。

また、組合員の皆様と共に役員一丸となって「酪農とちぎの組合員で良かった」と実感できる組織を目指し組合運営を図ってまいります。

結びに、組合員並びご家族皆様のご多幸をお祈りすると共に、ご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。就任にあたりましての挨拶と致します。



酪農とちぎ第七回通常総代会

施設合理化を達成・経費負担増に

対応する価格転嫁が必要



組合長の挨拶

第七回通常総代会が六月二十五日、高根沢町民ホールに総代百四名が出席し開催致しました。

当日は定刻に定足数を満たし菊池副組合長が開会を宣し、後に前田組合長より二年連続しての減産型計画生産に協力して頂いたことの感謝を述べ、今後可能な限り実状に沿った配分を行いたいとしました。また、昨年度からの飼料の高騰などによる経費の増加に伴った価格転嫁がなされておらず、今後も乳業メーカー等と交渉を続け、適切な乳価を得る努力を行うと共に酪農理解醸成運動を推進して行

くことを話されました。

また、施設合理化は本年度に宇都宮支所が完成し、県央地域の施設合理化を終点に中期計画の目標が達成されたことを報告し、さらなる合理化を目標としながら事業を展開してゆくことを述べました。

最後に、酪農はかつて無い厳しい状況にあり、組合員のご協力・関係機関の更なるご支援を賜り乗り切って行きたいと挨拶致しました。

議長団には、岡本秀治氏（高根沢町）皆川悦郎氏（那須塩原市）が選任され、提出第一号から第六号議案まで長時間に渡り慎重に議事を進行して頂きました。

第一号議案は、執行部より七年度の事業実績について詳細な説明が行われ可決し、第二号～第五号議案、定款の一部変更について・八年度事業計画・理事・監事の報酬・退任役員に対する退任給与金の贈呈等について、必要性及び内容を充分理解して頂きました。

第六号議案については、新たに十一名の理事が選出されました。その後、相馬副組合長が開会を宣し終了致しました。

当日の出席状況

定数百九十名、本人出席百四名、書面議決三十九名

主な質疑、意見要望事項

- ① 購買事業の系統利用推進について
 - ② 牛群検定事業の意義と推進方策について
 - ③ 遊休資産処分への進捗状況について
 - ④ 乳牛登録料金の料金改定について
 - ⑤ 役員の数及び報酬の削減について
 - ⑥ 指導事業の経営・技術指導強化について
 - ⑦ 役員の利用状況と利用推進について
 - ⑧ 購買利用における系統・商系の考え方について
 - ⑨ 出資金の最高限度額について
- また、乳質共励会の表彰が開かれ、組合表彰・県表彰・連続賞の各受賞者に対し、日頃の乳質向上に対する努力を賞しました。



ご意見・ご要望



新役員挨拶



議長団の、岡本秀治氏（左）皆川悦郎氏（右）



第6回乳質共励会表彰者名簿

表彰区分	支所名	組合員名	県表彰	連続賞
最優秀賞	那須高原支所	小針秀夫	知事賞	6年連続
	宇都宮支所	羽田栄	知事賞	2年連続
	県南支所	加藤俊雄	知事賞	3年連続
優秀賞	那須高原支所	横山武夫		
	〃	伊藤高行		
	県南支所	コーシーファーム(株)		2年連続
	〃	伊沢琢磨		
	〃	三柴秀夫		2年連続
	那須高原支所	室井元幸		
	〃	前田宏幸		5年連続
	〃	小林陽子		6年連続
	宇都宮支所	小口誠		
	那須高原支所	小針勇		
優良賞	宇都宮支所	小林幸雄		
	〃	大柿彰吾		
	県南支所	大井沢忠夫		
	那須高原支所	猪瀬良		
	〃	菊地勇		
	〃	人見みづ子		
	〃	田上徹和		
	〃	和田優		
	宇都宮支所	黒羽源治		
	〃	松井英一		
	〃	福物井一通		
	那須高原支所	白須孝志		
	〃	松本俊美		
	〃	人見悦郎		
	〃	皆川悦郎		
	〃	星昭男		
	宇都宮支所	都宮大		
	那須高原支所	渡辺仁太郎		
	〃	加藤拓央		
	〃	吉成亀美		
宇都宮支所	駒場久			

* 表彰区分毎・支所別に順位。また、同点の場合は順不同となっています。



退任役員挨拶



乳質共励会表彰



役員選任投票

支所別説明会を開催

六月上旬より、支所毎に支所別説明会を三会場で開催致しました。
組合は、総代会制になっておりますので、全組合員に十九年度事業実績及び二十年事業計画についてご報告し、今後の事業展開に資するため、皆さんからのご要望、ご意見を頂くことを年頭に、初年度より開催しております。今年度の支所別説明は六月十日～十三日に行われ、飼料高騰に対する対応及び価格転嫁等に対するご意見、ご要望を頂きました。

主な質疑ご意見等

那須高原支所
 役員の兼職について
 上部団体等の組織合理化について
 関東広域検査移行後の細菌検査の違いについて
 関東統一乳価テーブルの設定について
 乳価交渉下における組合の役割について
 生乳換算を用いた分かり易い損益表記について
 乳価値上げの中間的合意に至った経緯について
 牛乳消費拡大運動、抛出金等の事業効果について
 関東広域検査移行後の不合格乳対応について
 需給動向等の情報収集強化と乳価交渉への活用について

牛乳消費拡大に関わる積極的な宣伝広告について

宇都宮支所

ふれあい牧場作業機械等を活用した自給給料生産支援について
 給料生産支援について
 小余金処分に係る配当金の設定について
 小林放牧場の牧柵補修について
 法人税等の節税対策による組合員への還元について
 飼料用箱など自給飼料増産対策の推進について
 組合購買事業利用率向上について
 ふれあい牧場の預託管理改善について
 関東統一乳価テーブル実施年度の遅延理由について
 関東広域検査不参加会員への参加要請について
 関東統一乳価テーブルの周知徹底について
 生産コストの早急な価格転嫁について
 関東統一乳価テーブル実施の実現可否について
 関東広域検査移行に伴うサンプル取扱いの影響について

県南支所

経費削減に対する要望について
 役員候補者の所信について
 関東広域検査不参加会員の理由について
 乳価値上げの中間的合意に至った経緯について
 乳価値上げ要求単価について



東西南北

那須高原支所

環境美化運動（花の苗配布）

支所活動推進協議会（坂主正会長）では、本年度最初の事業として、六月十日に花の苗配布を行いました。配布については、畜舎周辺の環境美化向上を目的として毎年実施しており、今年も三種類の花の苗（インパチェンス十五本・ベコニア十五本・サルビア二十本）を全農家に配布しました。



現在、牛舎環境調査で巡回中ですが、牛舎周辺には色とりどりの花が咲き誇っています。「安全・安心な牛乳」を消費者に提供するには、環境美化は本当に大切なことですので、今後とも御協力のほど宜しくお願いします。

那須高原E.T組合主催講演会

六月二十三日、支所にて那須高原E.T組合（渡辺信一組合長）主催により、和牛の優れた枝肉生産のための飼養管理と素牛の育成管理技術について、齋藤顧問を講師に講演会が開催され、二十三名が熱心に受講していました。講演では、枝肉の見方や価格動向をはじめ、交配計画や肥育農家に喜ばれる子牛育成について御指導を頂いたほか、実際に農家で発生している問題点についての確かなアドバイスを頂くなど、有意義な講演会となりました。現在の酪農情勢の中で、乳肉複合経営は有効な経営手段の一つであり、収益増の期待が高まります。

宇都宮支所

女性会塩谷支部

いきいき元気体操講習会

去る六月二十五日、高根沢町元気あっぷむらに於いて、女性会塩谷支部（支部長滝沢真智子さん）は、支部員ら十六名が参加し「いきいき元気ストレッチ体操講習会」を開催しました。

この講習会は、毎週水曜の午後七時より同会場にて開催されており、十年間参加している坂部生子



支部員の紹介で企画されました。講師は、宇都宮体育教室主宰・レクリエーションインストラクターとしてご活躍

されています池葉英子先生（宇都宮市在住）のご指導のもと行われており、主に演歌や民謡などのリズムに合わせて体を動かし、参加者は楽しみながら良い汗をかき、リフレッシュできました。日頃、乳牛の飼養管理・搾乳・家事などに追われる中、ひと時ではありましたが体を動かし、いきいきと元気になれたと感じ、来年も開催して欲しいとの声も多く大変好評でした。

県南支所

市貝町酪農婦人部研修レポート

市貝町酪農婦人部は、県内の牧場視察と交流を兼ねた研修会を行っており、購買女性研修会で知り合った菊地瞳さんの牧場と、この春那須町にオープンしたチーズケーキ工房 MANNIWA（オーナー 摩庭正さん）を視察しました。



菊地瞳牧場では、高性能なロボットに参加者は興味津々でした。搾乳を機械に任せるのに初めは抵抗があつたが、

家族で視察に行き導入を決めたそうです。労力軽減の工夫と整理整頓がされた牛舎を案内して頂きながら、活発な質問に丁寧に答えてくださいました。協力してくれる人々への感謝の気持ちを忘れず、毎日を前向きに過ごす姿に、皆感心した様子でした。

チーズケーキ工房ではご自慢のケーキを、気さくなオーナー夫妻と歓談しながらいただきました。あいにくの雷雨でしたが、放牧場でゆったり過ごす牛たちを眺めながらコーヒー片手に過ごす時間は、多忙な日常を忘れさせてくれました。近年、生産調整・飼料高騰・乳価交渉の難航と、酪農家にとって今までのない厳しい状況が続いていますが、その中でも夢を追いながら現実と向き合い、前向きに頑張っている仲間の姿を見て、元気づけられた一日でした。



部課だより

生乳販売課

生乳生産量六月度

前年比九九・七%

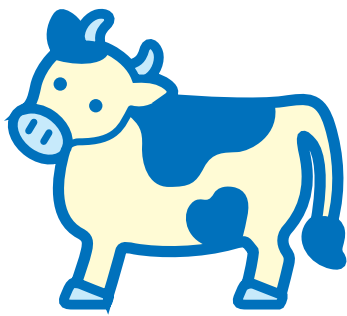
六月度の生乳生産量は一八、一七四トン（前年比九九・七%）となりました。支所別生乳生産量をみると、那須高原支所においては前年比九九・五%、宇都宮支所九八・二%、県南支所一〇一・二%の実績となり、出荷者戸数は六〇二戸（前年六三〇戸）、学校・公共団体五戸（前年六戸）となっております。

また、関東においては、前年比九七・七%となりました。特定乳製品向けについては四・七%（前年五・一二%）と前年より加工率は減少しましたが、飲用牛乳向けは三・四%の減また、累計においても三・六%の減となりました。また、はっ酵乳向けについては前年比一〇七・九%となっております。

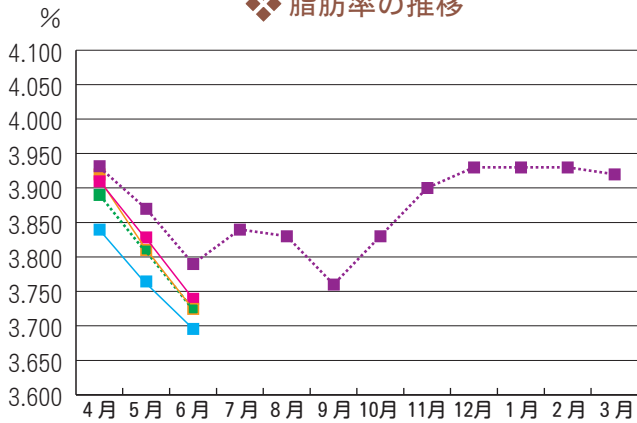
ります。

全国の生乳生産量については前年比一〇〇・二%でしたが、北海道を除く都府県の生乳生産量は九七・一%となりました。飲用牛乳向けは前年比九六・〇%となっております。

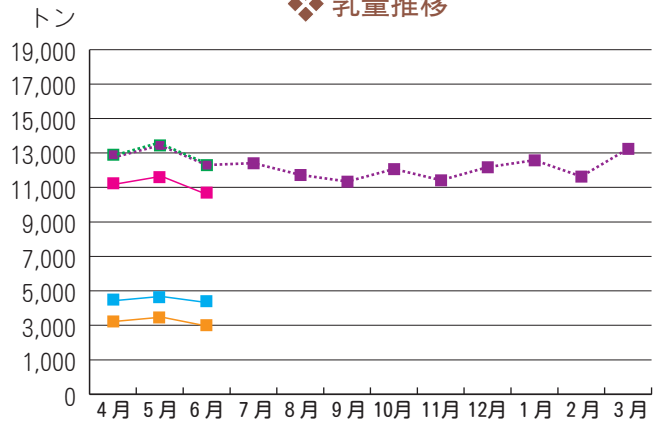
組合における六月度の乳質成績は、脂肪率が三・七三%、無脂固形分率は八・七三%となりました。細胞数については一九・九（前年一九・七万）となりました。六月度の乳量及び乳質成績は下記のとおりです。



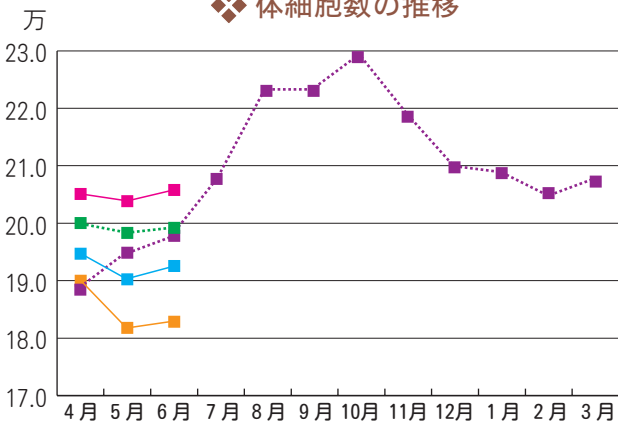
◆ 脂肪率の推移



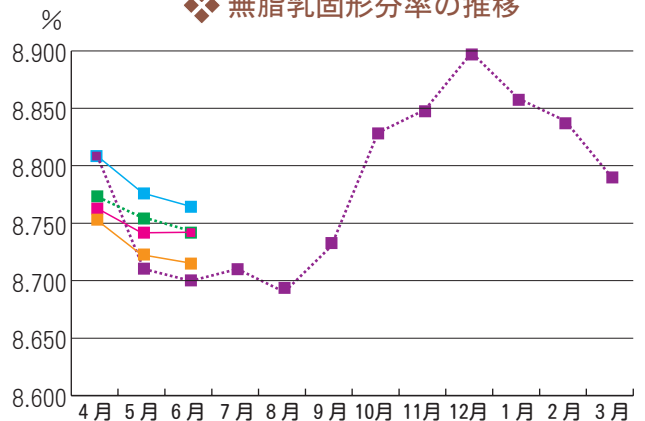
◆ 乳量推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



酪農部

牛群検定事業（AT検定法）の

取組みについて

牛群検定事業は、事業開始以来毎月一回夕と朝の両方を検定員が立会して一頭毎に乳量や乳成分のサンプルを採取して検定を行っております。今度取り組むAT検定法は、従来の毎月夕と朝の両方を立会する方法を簡易、効率化して、毎月交互に夕と朝を立会し、一日分の乳量や乳脂率を推定する検定方法です。家畜能力検定に関する国際委員会でも正式に認められた検定法です。国内では平成十二年より北海道で運用試験が開始され十四年度から北海道内で本運用が開始され北海道内の六割がAT検定法で検定が行われています。AT法検定のメリットは検定組合経費コストの削減です。また、夕・朝の立会から隔月の夕若しくは朝の検定立会になりますので検定による肉体的・精神的負担の軽減や検定員の確保も容易になります。しかし、デメリットとして検定成績

の精度低下や搾乳時刻記録タイマー代の自己負担（開始時六万円程度）が上げられます。

栃木県は今年度から「とちぎの生乳高品質化」を目的にこの搾乳時刻記録タイマー購入費に助成措置を講じる決定をしておりますので、組合では県内の検定組合に理解と協力を求めAT検定法に積極的に取組んでまいります。

酪農経営基盤は、購入飼料高騰により生産コストが上昇するなか弱体化の一途にあり、組合員減少に歯止めが掛からない現状を踏まえ、検定成績等を活用し効率的飼料給与、繁殖向上、乳量・乳質向上を図り酪農経営の安定向上に向けた経営改善支援に努めてまいります。

乳用牛群の生産性を向上させ、酪農経営の改善、安定を図るには牛群検定の成績活用が不可欠ですので検定組合への加入も併せてお願いいたします。

都府県酪農緊急経営

強化対策事業について

都府県酪農緊急経営強化対策事業の第1四半期分（四一・二五円×経産牛頭数）を七月三十一日に概算払いしましたが、追加対策分については、第2四半期から既存対策支援金に三〇〇〇円をプラスして支払うことになっております。追加対策の参加申し込み取りまとめは、八月下旬に実施いたします。尚、この事業は補助事業であるため、飼料作付地に関する書類や実施状況などの書類が必要ですので、組合員の方にとっては煩雑で大変だとは思いますが、ご協力をお願いいたします。



7月ホクレン初妊牛市場成績

〔単位：頭、千円（税込）〕

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	~400	401~450	451~500	501~550	551以上
南北海道	7月4日	50	376	33	10	5	1	1
十勝	7月7日	497	452	83	205	134	22	53
北見	7月8日	245	423	54	138	45	2	6
釧路	7月9日	172	426	46	76	41	1	8
根室	7月10日	357	437	86	154	83	16	18
豊富	7月11日	247	424	76	112	50	0	9
合計		1,568	434	378	695	358	42	95
前月		1,423	449	246	566	421	94	96
前年同月		1,620	430	429	747	337	33	74

※上記金額にはE T妊牛価格を含みます。

家畜市場成績

平成20年7月

〔単位：円（税込）〕

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
西那須野 20日	ホルス雄	164	59	59,850	740	41,888
	F 1 雄	94	54	137,550	21,000	86,837
	F 1 雌	78	48	78,750	13,650	43,212
館林 17日	ホルス雄	6	80	50,000	40,000	44,833
	F 1 雄	7	87	151,000	100,000	122,714
	F 1 雌	11	84	90,000	50,000	64,091



理事会だより

七月度理事会

報告事項

- (一) 組合員加入について
 - (二) 資金貸付について
 - (三) 七月分生産者支払乳価について
 - (四) 夏季手当の支給について
 - (五) 関東生乳販連情報について
- #### 協議事項
- (一) 六月度及び第1四半期事業実績について
 - (二) 遊休資産の処分について
 - (三) 那須興業(株)の株式売却について

お知らせ

祝結婚

那須塩原市の小針勇さんの後継者、勤さんが、七月五日に新婦幸子さんを迎えられるご結婚されました。末永くお幸せに。

那珂川町の古橋晃一さんが、七

月五日に新婦弘恵さんを迎えられるご結婚されました。末永くお幸せに。

青年部ソフトボール大会

七月二十三日、西那須野運動公園において、青年部主催平成二十年度親善ソフトボール大会が開催され、各支部より十二チーム約百五十名が参加し熱戦を繰り広げました。

当日は暦の通り大暑となり、白熱した試合が展開されました。好プレー・珍プレーが続出し、歓声と笑いのなか相互の親睦が図られました。選手と応援の皆様には、



平成20年度 青年部親善ソフトボール大会結果

開催場所：那須塩原市 にしなすの運動公園

ブロック	優勝	準優勝	第3位
Aブロック	黒磯A	那須A	芳賀 河内南部 ・下都賀
Bブロック	塩原・ 西那須野	那須B	大田原
Cブロック	那須C	黒磯C	宇河・今市
Dブロック	塩谷	那須南	黒磯B



大変お疲れ様でした。尚、試合結果は左表の通りです。

栃木県産牛乳

普及拡大ロゴマーク

「ミルットちゃん」

このロゴマークは、栃木県で生産された新鮮で安心・安全な生乳を使用し、県内の乳業メーカーが製造した牛乳・乳製品を、消費者の皆様に飲用していただくため、酪農家・乳業メーカー・牛乳販売店が協力連携を行い、本県産の飲用牛乳消費拡大普及を目指し、その取組の目的として左記の「ミルットちゃん」ロゴマークが公募により作成されました。

本組合では、一部製品で既に入しており、順次導入して参ります。今後、消費者の皆様が栃木県産の牛乳等を購入して頂く目印となることを期待しております。

